

令和4年度 第1回社会教育委員会議 会議録

1 開催日時 令和4年6月16日(木)午後1時30分～午後3時10分

2 会 場 山形市役所 7階 701AB会議室

3 出席者

(1) 委員 12名

阿部康子委員、荒井拓也委員、板垣恵一委員、伊藤香織委員、牛木力委員、奥山竜士委員、
洪間淳一委員、高見佳澄委員、新関徳次郎委員、丹羽英樹委員、星野みち子委員、矢口友理委員

(2) 事務局 13名

教育長、教育部長、少年自然の家所長、図書館長、社会教育青少年課長、
社会教育青少年課長補佐、課長補佐(兼)青少年係長、庶務係長、社会教育係長、
社会教育係員(4名)

4 傍聴者

(1) 一般傍聴者 なし

(2) 報道機関 なし

5 内容

(1) 開会

(2) 教育長あいさつ

(3) 自己紹介

(4) 報告

① 令和4年「山形市二十歳の祝賀式」の実施状況について

② 令和3年度の社会教育事業の実施状況について

③ 令和4年度の社会教育事業の計画について

(5) その他

① 第13回山形県社会教育研究大会について

② 山形市子ども会育成連合会の会報について

③ 令和5年「山形市二十歳の祝賀式」の実施等について

(6) 閉会

6 資料の名称

会議資料(次第が表紙)

参考資料 公民館事業について(スライド資料)

令和4年度 山形市社会教育の方針

7 議事録

(1) 開会 (社会教育青少年課長補佐)

(2) 教育長あいさつ

(3) 自己紹介

※ 委員及び事務局の自己紹介

(4) 報告

※ (4) 報告から (5) その他にかけて、新関代表委員が座長を担った。

①令和4年「山形市二十歳の祝賀式」の実施状況について

※ 事務局より資料に基づき説明。

座長 | ただいま事務局から説明があった内容については、(5) ③の時に併せてご意見を頂く
こととする。

②令和3年度の社会教育事業の実施状況について

※ 事務局より資料に基づき説明。

③令和4年度の社会教育事業の計画について

※ 事務局より資料に基づき説明。

座長 | コミュニティ・スクールについては、質疑の前に小中学校の状況をお聞きしたい。はじめに、中学校の状況について教えていただきたい。

委員 | 蔵王一中は令和2年度より学校運営協議会を立ち上げたが、コロナによって地域学校協働活動は開店休業状態だった。それまでは蔵王コミセンの地域祭りへの参加や、独居老人宅のゴミ出しボランティアを行った他、地域理解のために地域の方に講師をお願いして認知症サポーター養成講座などを授業で行った。

座長 | 次に、小学校の状況について教えていただきたい。

委員 | みはらしの丘小学校では、令和3年度より学校運営協議会を設置した。委員に学校を知ってもらい、教員の働き方や子供の様子を見てもらいながら、熟議を行う計画を立てた。アンケート形式でどんな子供になって欲しいかを集約し、学校運営協議会で話し合った。地域学校協働活動推進員を昨年度委嘱した。今年度、学校で困っていることについてのアンケート調査を行ってくれた。植物を育てる学習で、休日の水やりに関して、二人の協力をコーディネートした。

座長 | コロナで令和2年度は難しかった活動が、令和3年度は徐々にでき始め、令和4年度が本格的に進み始めている。幅広いご意見を頂きたい。

委員 | 公民館事業について、参加者数だけだと多いのか少ないのか分かりづらいので、参加者

	数の他に募集定員なども資料に示していただきたい。
座長	コロナ禍で最初から参加人数を少なくしているのか、募集をしたが結果的に少なかったのかが分かるといい。次回までぜひ検討していただきたい。
委員	①公民館利用者数はコロナにより減少しているが、コロナ前的人数に戻すことを目標にするのか、それともウィズコロナで密にならない程度の適正人数を想定しているのか。 ②公民館事業参加者のうち、小・中・高校生の参加はどれくらいか。 ③学校運営協議会では、学校と地域の委員が話すことが大事なので、今後も続けてほしい。
事務局	①令和3年度の公民館事業では、感染症対策をとって定員を絞って実施したものが多く。今後は徐々に定員を元に戻していきたい。 ②資料4ページ中「子ども育成」の人数、5ページ中「少年」「青年」「親子」対象の人数が参考値となる。
事務局	公民館利用者数の目標値はまずはコロナ前に戻すこと。アフターコロナの状況を見ながら、目標値は見直す必要が出てくるだろう。
委員	①学校運営協議会とPTAは別物なのか。違いは何か。 ②その委員の年齢層はどのくらいか。 ③共働きの家庭が多い地区では、昼間の活動は難しいのではないか。
事務局	①PTAは保護者と教職員の組織。学校運営協議会は保護者を含めた地域住民と教職員の組織。 ②委員の年齢層は様々。 ③会議の時間も様々で、地域の実情に応じて学校が柔軟に対応している。
委員	学校運営協議会が各学校で自然に立ち上がるのを待っていたら難しいが、教育委員会が支援することにより進んでいる。 ①コミュニティ・スクールの導入が進んでいても、地域学校協働活動推進員がまだ決まっていない学校が多い。委嘱が難しいのか。 ②地域学校協働活動や放課後子ども教室の予算はどのような内訳か。
事務局	①地域学校協働活動推進員は学校運営協議会の推薦が前提となっているため、学校運営協議会の設置と推進員の委嘱には多少時差がある。また、設置より前に校長からの推薦がある場合や、市教育委員会に相談があり、一緒に考える場合もある。 ②予算の多くは、謝礼として支払われる報償費。その他、保険料や消耗品費などもある。
委員	地協ニュース「ときたまご」が発行されていることを知らなかった。ホームページに掲載したり、ブログなどで活動紹介をするなどして広く周知していくべき。それを見て関わりたいと思う地域の方もいるのではないか。
委員	公民館事業の参加率はどのように算出しているか。参加率が70%未満の事業が22%となっている状況についてどう考えるか。
事務局	参加率は募集定員における参加者の割合である。コロナの感染拡大の時期は、人が集まる事業に参加しないようにした方もいたと思われる。今後は、公民館報やHP、SNSなどで広報していく。
委員	学校運営協議会の3つの役割、①学校運営の基本方針を承認する、②学校運営について

	意見を述べる、教職員の任用に関して意見を述べることで、それぞれの役割は機能しているか。
事務局	1つ目と2つ目は、各学校長から丁寧に説明していただいております。委員から活発な意見を出していただいております。3つ目はまだ事例はないが、教育委員会の規則に沿ってご意見を頂いていきたい。
委員	3つ目の教職員の任用については委員から誤解されている場合があると聞いている。そのような場合は是正していく必要があるだろう。 地域住民も子どもを育てるメンバーの一員であるということを感じてもらえるかが今後の課題であり、情報発信をしていく必要があるだろう。また、地域住民というと、その地域の有識者ばかりが選ばれる場合が多く、有識者の組織として他の地域住民との間に距離感が出来てしまうと思うが、その点はどのように考えるか。
事務局	今後は活動の周知拡大が必要だと考えている。より多くの地域住民の参画してもらい進めていく事業であるため、webの活用も含め、周知拡大について検討していきたい。地域の有識者も現在委員になっているが、今後の運営の中で変化していくと思う。
事務局	昨年度はテレビ番組「市政の目」で取り上げて周知した。今年度は例えば、市役所市民ホールでの展示や、高校生ボランティアを巻き込んだ活動、HPの活用などを検討していきたい。
事務局	「ときたまご」は教職員、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員に配付している。学校運営協議会をこれから設置する学校に対して、あまりプレッシャーがかかりすぎないように配慮した。設置後は周知を進めたい。
委員	①「個人の要望」はどのように取り入れているのか。 ②会議資料に定員、講座ごとの実人数があると分かりやすい。 ③高校生ボランティアとの活動はどのような計画か。
事務局	①事業の参加者アンケートに受講してみたい講座を記入してもらい、反映している。 ②実人数の把握はなかなか難しい。 ③現在準備を進めているのはICTをテーマにした講座。パソコン講座やスマホ講座で、講師の補助として高校生が参加者に操作方法を教えるという形を考えている。
委員	事業にこれまで参加しておらず、これから参加してみたいと思っている人の要望を吸い上げることが大切ではないか。

(5) その他

- ① 第13回山形県社会教育研究大会について
- ② 山形市子ども会育成連合会の会報について
 - ※ 事務局より資料に基づき説明。
 - ※ 質疑等なし。
- ③ 令和5年「山形市二十歳の祝賀式」の実施等について
 - ※ 事務局より説明。

座長	令和5年「山形市二十歳の祝賀式」について、各委員から一人ずつ意見を伺いたい。
委員	アンケートに出ているのは参加した人の声だが、参加できなかった人の声も聞くべき。

- 開催時期については、何とも言い難い。
- 委員 着物が着られる時期ならいつでもいい。
- 委員 保護者の立場からすると、1月は雪の心配があるのではないか。
- 委員 4月は気候的にいい時期。ビッグウイングは駐車場が広くていい。登録制にして出欠の意思表示をさせることで、大人としての自覚が出るはず。
- 委員 1650名の参加者中、回答者が200名と少ないのは何故か。1月は大学の共通テストもあるため避けたほうがいい。
- 事務局 参加登録時にアンケートを取っていれば回答率が高かったと思うが、当日に実施したためあまり回答いただけなかった。後日、登録者にメールでお知らせもしたが、この数で留まった。
- 委員 昨年度の会議で、振袖を準備できない人への配慮が必要ではないかという意見もあった。大型連休のほうがいい。パンフレットはwebでいいと思う。
- 委員 参加対象となる方々の声を第一義として考えて、声を聞いて大人が調整して決めていくべき。4月のほうがいい。
- 委員 参加しやすく、準備しやすいほうがいだろう。4・5月のほうがいいのではないか。
- 委員 アンケート結果は拮抗していて様々な考え方がある。これまでの検討で蓄積してきたものも考慮しながら、先のことを考えて場所を決めてほしい。パンフレットはwebと紙のハイブリット型がいいのではないか。
- 委員 学生としては、参加したければ時期や場所はどちらでもいいのではないかと思う。
- 委員 自治体によって様々であり、柔軟に対応している。ビッグウイングは利用料の減免がないので料金が高いはず。式典終了後のアンケートではなかなか回答しないと思うので、事前にとったほうがいい。
- 委員 令和4年は難しいかもしれないが、令和5年には今後の山形市の式典の方向性としての時期と場所が決まればいい。
- 座長 以上でその他について終了します。

※ 新関代表委員、座長席を退席

(6) 閉会（社会教育青少年課長補佐）